PRIMERGY CX1000 S1/CX122 S1 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品ご使用にあたり注意事項がございます。ご使用の際には下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2011 年 8 月
富士通株式会社

1. PRIMERGY CX1000 S1 設置・移設に関する留意事項

1.1 電源ケーブルについて

PRIMERGY CX1000 S1 の AC 電源接続は、AC200V 単相または三相となります。コンセント形状を確認の上、適切な受け側プラグおよび電源ケーブルをご準備ください。また緊急時に電源コンセントから電源プラグを抜く必要があるため、電源コンセントは自由にアクセスできる場所(床上など)に設置するようにしてください。

1.2 移設の際の注意事項について

PRIMERGY CX1000 S1 を移設する場合は、LAN スイッチを外した状態で移動してください。

2. PRIMERGY CX1000 S1 搭載のシステムファンに関する留意事項

PRIMERGY CX122 S1 に搭載されている CPU が、Xeon E55xx/ E56xx/ X56xx の場合、システムファンが一台故障した際にサーバの負荷状況や周囲温度によって、温度警告メッセージの通知や性能が低下する場合があります。

3. PRIMERGY CX1000 S1 搭載の LAN スイッチに関する留意事項

3.1 LAN スイッチ電源ケーブルについて

LAN スイッチ用の電源ケーブルは PRIMERGY CX1000 S1 側に付属されていますので、別途手配は不要です。付属されているコンセントの形状は IEC 60320 C13 になります。
ただし、使用される LAN スイッチによっては、専用の電源ケーブルを指定している場合があります。その場合は、LAN スイッチ指定の電源ケーブルをご使用ください。その場合、電源ケーブルは、LAN スイッチ 5 左側の空きスロットより、ラック前面に引き出してください。

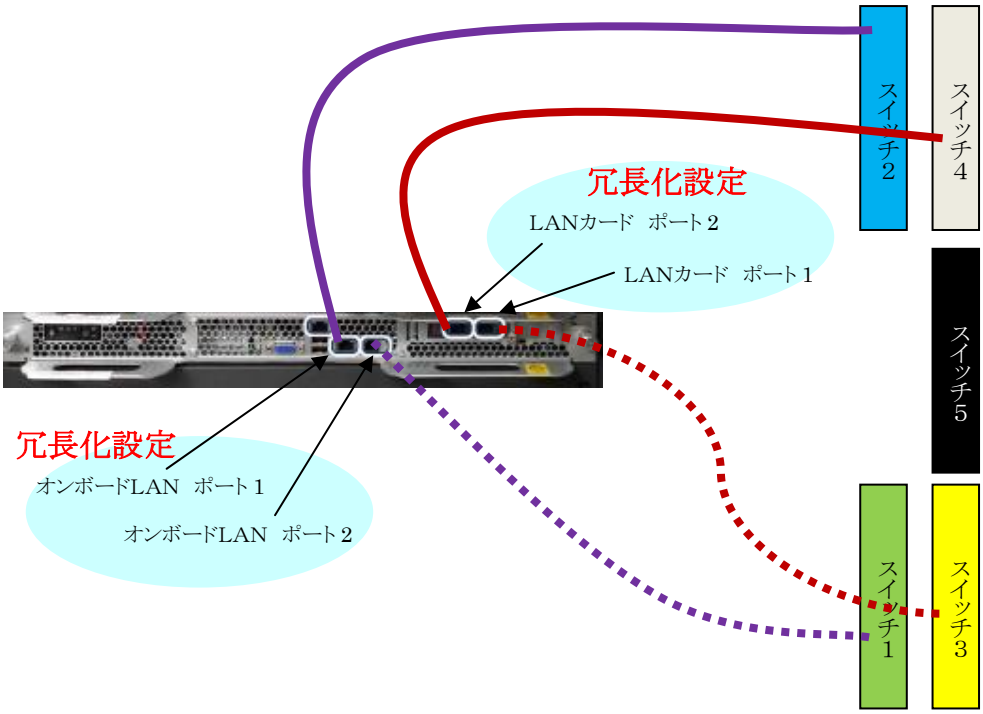
3.2 LAN スイッチ電源の冗長化について

LAN スイッチ用電源ケーブルは、入力系統がわかるようケーブルに緑色および青色の識別ラベルが貼ってあります。LAN スイッチの冗長化、LAN スイッチ電源の冗長化を行う際は、異なる識別ラベルの電源コードを接続するようにしてください。

3.3 LAN スイッチの設定（冗長化）について

4 台以上 LAN スイッチを搭載する場合は、LAN スイッチ 1 と 2 また、LAN スイッチ 3 と 4 は冗長化することを強く推奨します(サーバ側の LAN ポートで Teaming 設定を実施)。冗長化しない場合 LAN スイッチ故障時に LAN スイッチ交換のために LAN ケーブルを外す場合があるため全サーバの運用を停止して、LAN スイッチを交換する必要となる場合があります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2011

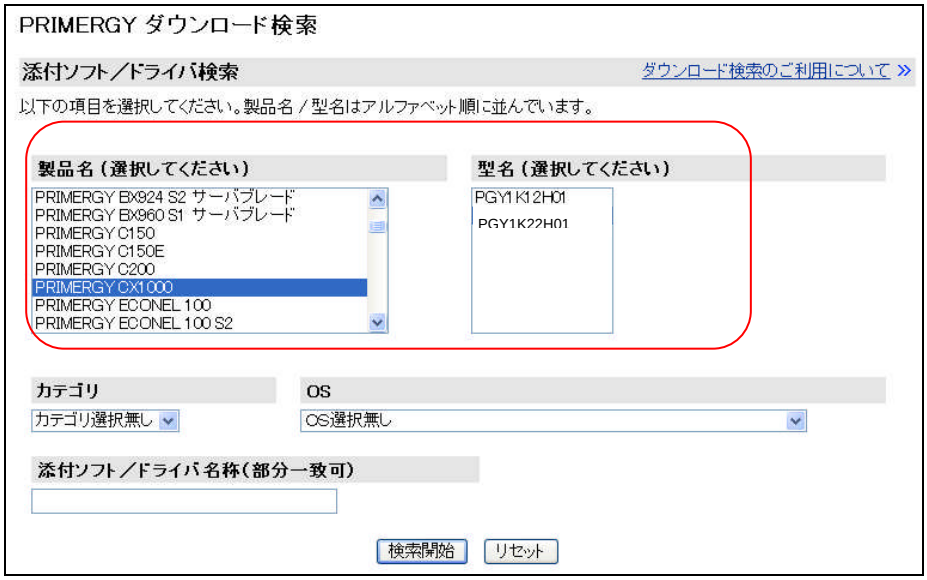


4　PRIMERGY CX122 S1 の高信頼ツールに関する留意事項

DSNAP、ソフトウェアサポートガイド、RAS 支援サービス、HRM/Server 等の高信頼ツールはサポートしておりません。

5　PRIMERGY CX122 S1 のドライバの入手について

弊社ホームページ PRIMERGY のダウンロードページより型名「PGY1K22H01」を選択し、最新版のドライバをダウンロードしてご使用くださいますようお願いいたします(下図参照)。
http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/



以上